

# 警報設定支援システム

## ～ Tri-GATE書き込み機能応用例 ～

### 導入の目的

運転工程により、同一タグの警報パラメータを手動で変更する必要があり、とても面倒です。また、変更のし忘れや、最近では警報パラメータの変更を行わないこともあり、それにより発生する警報に慣れてしまい、確認が怠りがちになっています。それが事故に繋がっては大変なので、本システムを導入いたしました。

### 機能概要・特徴

タグ毎に適正な警報パラメータを設定し、運転工程に合わせて警報パラメータを自動的に変更します。これにより、不要な警報を減少させることができます。

#### 警報パラメータの設定

あらかじめ、プラント単位で運転工程毎に各タグの警報パラメータを設定しておきます。設定項目はPH、PL、DL、VLですが、HH、LL等も同時に設定できます。また、PV・SVの値からバイアスを付けた値も設定できます。

##### セキュリティ

警報パラメータのメンテナンスはユーザとパスワードで管理。責任者以外の変更をブロックし、ログには変更日時と操作したユーザの記録を残します。

タグメンテナンス画面

No.	タグ名	SH	SL	PV (基準)	SV (基準)	MV (基準)	計測MODE (基準)	BIAS値 (基準)
10	1 TLIC2							BIAS-PV
11	2 TFR2							BIAS-SV
12	3 TFR2							BIAS-SV
13	4 TFRM2							BIAS-SV
14	5 TFR2							BIAS-SV
15	6 TFR1							BIAS-SV
16	7 TLIC3							BIAS-SV
17	8 TFR2A							BIAS-SV
18	9 TFR2B							BIAS-SV
19	10 TLIC4							BIAS-SV
20	11 TFR1							BIAS-SV
21	12 TFR2							BIAS-SV
22	13 TTI3							BIAS-SV

#### 運転工程の遷移を自動判定

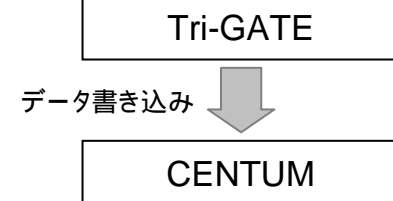
CENTUMから%CP、%SW等で運転工程の変更通知を受け取るのはもちろん、複数のタグを定周期で監視し、遷移条件を満たしたら運転工程が変わったと判定することもできます。

運転工程の遷移条件設定画面

MODE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															

#### 警報パラメータの書き込み

遷移した運転工程の警報パラメータを、DCSに書き込みます。Tri-GATE書き込みオプションを利用することで、実現できます。



### 効果・お客様の声

自動的に運転工程に則した警報パラメータを設定できるようになり、作業量を減らすことができました。また、必要な警報を発報させるという本来の目的通りに使えるようになりました。さらに、運転員の警報に対する意識を改善でき、慣れからくる注意力の低下を防ぐことができました。